

第31号 TOPIX

- 1 平成27年 鏡開き式
- 2 あこがれの「日本武道館」(合気道)
- 3 長崎国体でのおもてなしに恩返しをするために!
(空手道)
- 4 えひめ国体に向けた取り組み(弓道)

■愛媛県武道館

開館時間：午前9：00～午後9：00

休館日：毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日）
年末年始

住 所：愛媛県松山市市坪西町551番地

T E L：089-965-3111 F A X：089-965-3388

ホームページ：<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp>

予約システム：https://www.pref.ehime.jp/s_yoyaku/servlet/Top

平成27年 鏡開き式



と き 平成27年1月11日(日) 9時～

場 所 愛媛県武道館 主道場

参加料 **無料**

※先着200名様に記念品プレゼント

※景品付き餅まきもあります

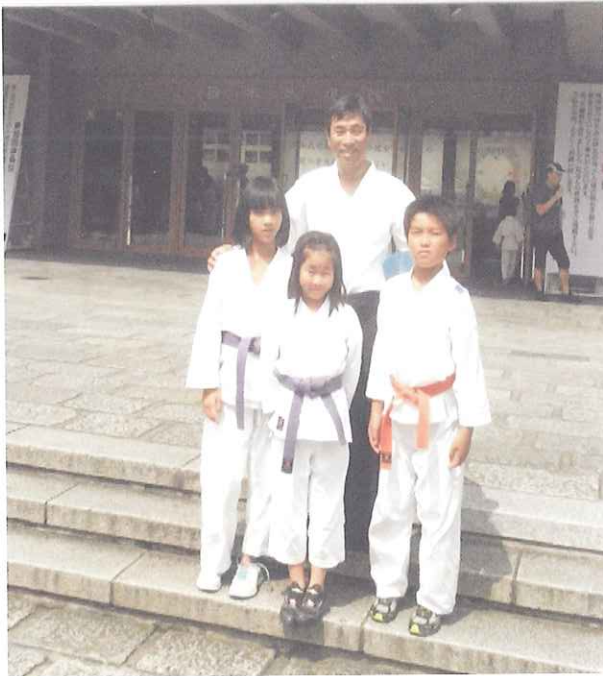


あこがれの「日本武道館」

執筆／愛媛県合気道連盟 理事長 橋田 一美

7月20日、日本武道館において平成26年度全日本少年少女武道錬成大会（合気道）が開催されました。この錬成大会は各武道団体で日程を設け、毎年盛大に行われています。

さて、今回は我が愛媛から3名の精鋭たちが初めて参加させていただきました。子どもたちにとって、夢の日本武道館の畳の上で全国から集まった合気道仲間と一緒に錬成稽古をすることができたのは一生涯忘れられない思い出となりました。

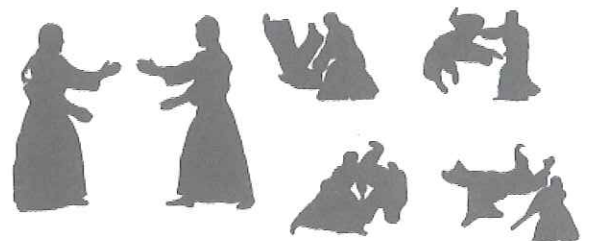


た。また、後半には広い畳の上で演武を披露することもできました。こんな経験をするのは滅多にないことで、子どもも保護者の方々も大喜びでした。できれば来年度も、今年以上の人数で参加したいと思っています。

現在、教育現場においては中学校の体育で武道、ダンスが必修化され、全国各地で素晴らしい実践が報告されています。合気道も徐々に導入されていますが、まだまだ他の武道に比べ数的に少ないのが実情です。でも、今後は愛媛県合気道連盟を中心に「和」の武道である合気道の輪を広げ、より多くの中学校が導入されるよう積極的に働きかけていきたいと思っています。

毎年、愛媛県武道館においても武道体験フェスタや武道サマーウィークなどの体験教室を開催していただき、子ども達に武道の楽しみを広げてくださっています。また、愛媛県合気道連盟でも、演武大会や少年少女錬成大会を通じてジュニア世代のレベルアップを図っています。

これからも、平和な世界をめざし、武道の精神で困難に立ち向かう、たくましい日本の少年少女を育てるために努力していきたいと思っています。



合気道
橋田一美



長崎国体でのおもてなしに恩返しをするために！

執筆／愛媛県空手道連盟競技力向上部 石丸 祐成

去る10月13日～15日、長崎国体空手道競技が佐世保市で開催された。

前日の監督会議では、台風19号の接近により警報が発令された場合、ボランティアスタッフの方々が会場に来ることができず、「通常の形式で開催されるのかを懸念しなければならない」というはなしがあった。

心配していたとおり大会初日は、まさに台風が九州に上陸し、朝から暴風雨となった。そんな中でも、笑顔で車を駐車場に誘導して下さる方、ずぶぬれになりながらも会場入り口で出迎えて下さる方、警報が発令されているにもかかわらず、お手伝いをして下さった高校生たちには、本当に頭が下がる思いがした。



台風の中の入場行進、警報発令中にもかかわらず地元高校生が入場行進に参加してくれた

選手たちはこのような献身的なおもてなしを受け、愛媛県の代表として晴れの舞台に立てる喜びを一層感じたことであろう。

残念ながら組合せにも恵まれず、愛媛県勢の大活躍を目の当たりにすることはできなかったが、ここ数年の強化練習の成果が所々にあらわれており、確実に実力がついてきていることを感じる事ができた。

来年は、強豪大学に進学する選手も増え、ふるさと選手として予選に出場するので、さらにレベルの高い試合を見せてくれることであろう。3年後の愛媛国体が本当に楽しみである。

長崎国体では競技会場とは別の場所でも最高のおもてなしをうけた。

愛媛県チームは残念ながら三日目の試合の予定がなくなってしまい、二日目の晩に反省会を行うことにした。

私たちが宿泊していた東彼杵郡川棚町は、愛媛

県でいうと愛南町と似たイメージの自然豊かな海に面した小さなきれいな町だった。案の定、全国チェーンのような大人数で入れる店は見つからず、「ビストロマスミ」という小さなお店に入れていただいた。

私たちが反省会をしながら食事をしていると、なんと！お店にいた常連の電気工事屋の社長から焼酎の差し入れが！お礼のお酌をすると、そこからオーナー、大将、女将さんを含め、我々が宿泊している国民宿舎 くじゃく荘の専務理事まで登場し、店のお客様全員混じっての大宴会に！（笑）（もちろん高校生はソフトドリンク）楽しい時間



ビストロマスミで地元の方々と

はあっという間にすぎ、別れ際に再会と愛媛国体で我々が結果を出すことの約束を交わした。

翌朝、宿舎を出発しようとしたところに昨晚の専務理事が登場！お土産に長崎和牛のジューシーなメンチカツと牛肉たっぷりコロッケ、長崎和牛のすき焼き肉をいただき、平日の仕事にもかわららず、昨晚の一緒に飲んだ皆様全員による見送りを受けた。地元の方の温かいおもてなしをうけ過去最高の思い出の国体となった。

3年後の愛媛国体ではお世話になった方のためにも結果を出すこと、また私自身も他県より来る選手、スタッフに対して最高のおもてなしをすることを心に誓った。



長崎和牛と組手重量級の谷岡選手

えひめ国体に向けた取り組み

執筆/愛媛県弓道連盟 常務理事 松岡 真吾

愛媛県弓道連盟では、「2017愛媛つなぐえひめ国体」の成功を目指して、弓道連盟会長を筆頭に「選手育成」「競技役員養成」へと準備を進めている。

まず、選手育成については、青野常孝・越智昇・渡邊和英の3コーチを主体に実施している。

●選手選考について

選手選考は、少年・成年とも2～3回/年の予選会において上位者が県内最終予選へ進出し最終強化指定選手(各6名)を決定している。

●選手育成の苦労

- ・少年は、高校入学から経験し1～2年で育成しなくてはならない。
- ・成年は、各自仕事が終わってからの練習となり練習時間が取り辛い。

●選手育成の工夫

少年選手育成については、

- ・毎年1月～3月に2回程度「遠的練習会」を実施している。
普段遠的を経験できない選手に遠的を経験させると共に優秀選手を発掘する事を目的とする。
- ・最終強化指定選手は、上位4名+2年生の上位2名を含め6名としている。2年生の上位者を強化指定する事により翌年へ繋げる事を目的とする。

成年選手育成については、

- ・年3回、アドバイザーコーチを招聘し強化練習会を実施している。
- ・毎週木曜日を、強化練習日として総合運動公園弓道場の利用時間を1時間延長して頂いている。

●本年の成績

少年男子(遠的5位)・少年女子(近的8位・遠的7位)とし、男女総合成績(天皇杯)15位・女子総合成績(皇后杯)18位の成績を収めた。

●今後の目標

成年選手の意識の高揚を含めた効果的な強化練習を実施する事により、少年男女・成年男女が本国体へフルエントリーすると共に、上位入賞を目指したい。

次に、競技役員養成についても、中央講師を招聘して「競技役員養成講習会」を実施すると共に、「役員運営訓練大会」を実施している。競技役員養成事業も3年目となり、主要役員の意識および知識も向上してきたように感じるが、本国体の競技役員150名余りへ、同様の意識および知識を伝承する事が課題となっている。

地元開催においては、当県選手が優秀な成績を取るだけでなく、参加選手が気持ちよく最高のパフォーマンスを披露できるような運営を実施したいものである。



弓



少年女子 トーナメント1回戦



少年男子の遠的 公開練習

甲矢(はや)(上)と
乙矢(おとや)(下)



○武道館では様々な事業を実施しております!詳しくは、ホームページまたは武道館までお問い合わせください。

愛媛県武道館ホームページ



モバイル用



パソコン用

